

資料提供			
月 日	発表者	問い合わせ先	
		電話番号	担当者
令和4年10月5日（水） 午前10時	関西広域連合広域環境保全局 （滋賀県総合企画部CO ₂ ネットゼロ推進課）	077-528-3091	事務官 間野 智也

「関西脱炭素フォーラム2022」の開催について

関西広域連合にて令和3年11月に行った「関西脱炭素社会実現宣言」に基づき、関西全体で住民、事業者、団体および行政が脱炭素社会の実現に向けた行動を主体的に行う機運を醸成するためのフォーラムを下記のとおり開催します。

開催に当たっては、経済産業省および環境省、関係する公共団体、関係機関と連携、協力して実施しています。

記

1 目的

持続可能な脱炭素社会を実現するためには、住民、事業者、団体など多様な主体の連携が重要であり、その機会を設け、モデル的な取組として全国に発信するとともに、実践行動の促進を図る。

2 後援

近畿地方環境事務所、近畿経済産業局、公益社団法人関西経済連合会

3 日時

令和4年11月26日（土）11時～16時30分

4 開催場所

マイドームおおさか 1階 展示ホール（大阪府大阪市中央区本町橋2-5）

※ 一部講演についてはハイブリッド形式での開催とする。

5 募集

本フォーラムにブース出展する事業者・団体及び参加者を募集します。

① ブース出展事業者・団体の募集

募集定員：事業者・団体 20社/団体程度

募集期間：令和4年10月5日（水）～10月31日（月）

② 公演参加者

募集定員：100名程度

募集期間：令和4年10月5日（水）～11月18日（金）

参加者（想定）

- ・ 関西エコオフィス宣言事業所
- ・ 6府県（滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、和歌山県、徳島県）の推進員等

- ・一般個人、企業等
 - ・構成府県市（上記6府県および京都市、大阪市、神戸市、堺市）職員
- ※ 出展ブースのみの参加については事前申込み不要です。

6 内容（予定）

A 講演スペース

【第1部】

11:00	開会
11:00～11:20	挨拶・フォーラム概要説明
11:20～12:00	基調講演 環境省からの報告

【第2部】

13:00～13:30	基調講演 再生可能エネルギー導入等に関する講演
13:30～14:00	事例発表 地域活動者からの報告

【第3部】

14:15～14:45	事例発表 次世代自動車製造関係事業所からの報告
14:45～15:15	事例発表 関西エコオフィス宣言事業所からの報告

【第4部】

15:30～16:30	パネルディスカッション
16:30	閉会

※ 詳しくは別添チラシをご参照ください。

B ブース出展スペース

事業・活動内容を紹介するブースの設置

出展者：申込みのあった関西エコオフィス宣言事業所、団体、国・構成府県市 約20団体

C 次世代自動車展示スペース

EV車の展示、充電等のデモンストレーション

D 中小企業等向け省エネ相談コーナー

7. HP リンク

<https://www.kouiki-kansai.jp/koikirengo/jisijimu/kankyohozen/info/7284.html>



関西脱炭素フォーラム2022

関西広域連合では令和3年11月に「関西脱炭素社会実現宣言」を発出し、1周年を迎えます。

関西全体で住民、事業者、団体および行政が脱炭素社会の実現に向けた行動を主体的に行う機運を醸成し、オール関西として取組みを進めるため、「関西脱炭素フォーラム2022」を開催します。

本フォーラムでは、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、国のエネルギー政策の動向、再生可能エネルギーを活用した地域の活性に取り組む団体や業界の先頭に立ち脱炭素社会の実現を目指す企業の取組について情報共有を図ります。

プログラム

※基調講演・事例紹介の出席には事前申込みが必要です
※展示交流ブースは事前申込み不要でご覧いただけます

11:00~11:20 ー主催者開会挨拶

11:20~12:00 ー基調講演①

福嶋 慶三氏 (環境省近畿地方環境事務所 環境対策課長/地域脱炭素創生室長)
「地域脱炭素に向けた国の動き」

13:00~13:30 ー基調講演②

木村 啓二氏 (大阪産業大学経済学部准教授/公益財団法人自然エネルギー財団特別研究員)
「脱炭素経済への移行と地域」

13:30~14:00 ー事例紹介①

伊東 真吾氏 (株式会社コープエナジーから)
「地域と連携した再エネ・電力事業の課題と展望」

14:15~14:45 ー事例紹介②

遠藤 和志氏 (自動車産業株式会社 日本事業広報渉外部長)
「脱炭素化への電気自動車 (EV) の貢献と活用事例」

14:45~15:15 ー事例紹介③

吉澤 正人氏 (ダイキン工業株式会社 CSR・地球環境センター 担当課長)
「ダイキン工業の“カーボンニュートラルへの挑戦”」

15:30~16:30 ーパネルディスカッション (上記、全登壇者)

16:30 ー閉会

展示交流ブース

次世代自動車の
展示もあります!

出展企業・団体募集中!



事業者向け省エネ相談
コーナーもあります

ACCESS

- Osaka Metro 南船場
「南船場駅」駅の12号出口から徒歩4分
- Osaka Metro 中央線
「南船場駅」駅の1号出口から徒歩6分
- Osaka Metro 谷町線
「谷町南丁駅」駅の4号出口から徒歩7分
- 近鉄電車
「大津線」駅の南船場出口から徒歩10分

申込み・問い合わせ

下記サイトの申込フォームより必要事項を記入の上、お申込みください。
<https://www.kouiki-kansai.jp/kouikirengo/jisijimu/kankyohozen/info/7284.html>

申込期限

令和4年11月18日(金)

会場定員 100名

スマートフォンでのお申し込みはこちらから



※展示交流ブースに出展いただける企業・団体もあわせて募集しています。
※一部講演については、オンラインでの参加もできるように調整しています。
詳しくはホームページでご確認ください。

主催・問合せ先

関西広域連合広域環境保全局 (滋賀県総合企画部 CO2 ネットゼロ推進課)
〒520-8577 滋賀県大津市京町四丁目1-1
TEL: 077-528-3091 FAX: 077-528-4808
E-mail: cg02@pref.shiga.lg.jp

関西広域連合は「関西脱炭素社会実現宣言」に基づき、脱炭素社会の実現に向けてオール関西で取組みを進めます。



関西広域連合

UNION OF KANSAI GOVERNMENTS

滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、
鳥取県、徳島県、京都市、大阪市、堺市、神戸市

後援：近畿経済産業局、近畿地方環境事務所、公益社団法人関西経済連合会

※基調講演・事例紹介の出席には事前申込みが必要です
※展示交流ブースは事前申込み不要でご覧いただけます

プログラム詳細

11:00~11:20

主催者開会挨拶



11:20~12:00 基調講演①

「地域脱炭素に向けた国の動き」

福岡 慶三氏（環境省近畿地方環境事務所 環境対策課長／地域脱炭素創生室長）

2002 年環境省入省。地球環境局総務課、地球温暖化対策課等で、気候変動の国内対応や国際交渉に従事。その後、内閣官房構造改革特区・地域再生推進室、内閣官房副長官補室、兵庫県尼崎市等へ出向し、政府全体の政策とりまとめや、まちづくり及び地域課題解決に取り組む。本年4月より現職。英国サセックス大学大学院環境開発政策修士。

13:00~13:30 基調講演②

「脱炭素経済への移行と地域」

木村 啓二氏（大阪産業大学経済学部准教授／公益財団法人自然エネルギー財団特任研究員）

2022 年より現職。専門は、環境経済学、再生可能エネルギー政策論。専門は、環境経済学、再生可能エネルギー政策論。1979 年広島市生まれ。2007 年に立命館大学大学院国際関係研究科修士後期課程修了、博士（国際関係学）。主な著作・業績に、「拡大する世界の再生可能エネルギー」（共同執筆、世界思想社、2011 年）、「国民のためのエネルギー原論」（分冊執筆、日本経済新聞出版社、2011 年）「地域分散型エネルギーシステム」（分冊執筆、日本評論社、2016 年）など。



13:30~14:00 事例紹介①

「地域と連携した再エネ・電力事業の課題と展望」

伊東 真吾氏（株式会社コープエナジーなら）

1970 年奈良県生まれ。NPO 法人職員等を経て、2016 年より市民生活協同組合ならコープ子会社にて新電力事業立ち上げ、小水力発電事業開発・運営等に携わる。これまでの主な兼通として、京都府地球温暖化対策アクションプラン検討委員、総合資源エネルギー調査会省エネルギー基本部会臨時委員、関西小水力利用推進協議会理事など。共著に「市民・地域共同発電所の作り方」（かもがわ出版）など。



14:15~14:45 事例紹介②

「脱炭素化への電気自動車（EV）の貢献と活用事例」

遠藤 和志氏（日産自動車株式会社 日本事業広報渉外部 部長）

1933 年の創業以来「他のやらぬことを、やる」という精神のもと、様々な技術を世に送り出してきた。2010 年に電気自動車（EV）「日産リーフ」を発売し、世界累計販売台数は 60 万台を超えている。10 年以上に亘る EV のノウハウと技術革新をベースに、クロスオーバー EV「日産アリア」、軽自動車 EV「日産サクラ」を発売。国内メーカーとしては唯一、EV ラインアップを揃えている。また、カーボンニュートラル宣言も行い、脱炭素化に向けた活動にも積極的に取り組んでいる。



14:45~15:15 事例紹介③

「ダイキン工業の“カーボンニュートラルへの挑戦”」

吉澤 正人氏（ダイキン工業株式会社 CSR・地球環境センター 担当課長）

空調事業とフッ素化学事業を主力とし、世界で唯一、空調と冷媒の両方を手がける総合空調メーカーです。環境技術を活かした製品・サービスを世界 170 余国以上に提供しています。安全・安心で健康・快適な空気環境を提供しながら、気候変動をはじめとした社会課題を解決しサステナブルな成長をめざしています。



15:30~16:30 パネルディスカッション（上記、全登壇者）

16:30 閉会